

Super GT Rd3 SUZUKA Race Report

2021/08/21-22



General Comments:

当初は5月に開催が予定されていた鈴鹿ですが、新型コロナウイルスの影響で2か月以上も延期となっていました。個人的に鈴鹿は特に課題が多かったので、この2か月を上手く利用してしっかり課題をクリア出来るように準備を進めてきました。

Qualify : P8

フリー走行ではまずまずの感触を得ていましたが、それでもQ1を突破するにはぎりぎりといったところでした。今大会のQ1は自身が担当しました。ここまで沢山の準備に励んできたので、その成果をしっかりと出せるチャンスだと思いましたし、今シーズン予選を走るのは今回が初めてでしたので、かなり興奮していました。アタックが出来るチャンスは1周だけです。失敗して、もう1周走るとするのはタイヤのPeak Gripが落ちてしまうので、1発でまとめなければいけません。集中をMAXにしてアタックに入りました。ここまで沢山の方々に支えられてトレーニングをしてきたこともあり、きっちり1周をまとめきることが出来、結果は8番手でQ1を通過しました。9番手に対してわずか0.024秒差でしたので、本当にぎりぎりでした。

そして、Q2に向けて若干のマシンセットを変更し松下選手に託しました。一生懸命攻めに行った結果、なかなか上手くまとめきれず、Q2を8番手で終えることとなりました。

300km Race : Finished P6

第1ステイントは松下選手が担当しました。スタートして直ぐにポジションを1つ上げ、第1ステイント後半には6位を走っていました。自身もチームも特にスタート直後の松下選手にはかなりの信頼をおいています。必ずアクションを起こしてくれますし、ポジションも上げて来ます。

そして、13周を過ぎたところで「第1ステイントの周回数はミニマムで行きます。平峰準備しろ。」とチーム全員に無線が入り、自身は準備をして19周目に交代しました。アウトラップから全力でプッシュし続け、5周目には2位までポジションアップ出来ました。また、トップも目の前にいたので、「絶対に追い抜いてやる！」と、かなり興奮していたのですが、6周目を過ぎたあたりで急にマシンのバランスが不安定になり、みるみるうちにペースが落ちていきました。さらに、後ろから何台もライバルが押し寄せ抜かれてしまい、後半には自分の真後ろには6位～9位までの4台が連なっていましたが、何とかブロック出来6位でレースを終えることとなりました。



！悔しいけど、出し切りました！

スポンサーの皆様、いつも応援して頂きありがとうございます。
2か月以上延期となっていたRd3鈴鹿は、6位でフィニッシュし貴重なポイントを持ち帰ることが出来ました。

しかし、入賞は出来たものの、自身もチームもとても悔しく思っています。
ライバル勢のサクセスウェイトを考えれば、我々は上位争いをしていないといけません。それが、今回このような結果となってしまう、大変申し訳なく思っています。

次戦はRd5菅生です。既に自身もチームも今大会の反省を踏まえて準備を進めています。GT500で走るようになって、菅生を走るのは初めてなので、かなりの準備が必要だと思っています。
しっかりと自分自身に鞭を打って心も体も鍛えていきます。

苦しい戦いが続いていますが、ここは踏ん張りどころだと思っています。

どうか引き続き応援を宜しくお願い申し上げます！！

